

# 第11回

# 臨床消化器病研究会

## プログラム

日 時 : 2010年7月31日(土)

受付開始 : 8:00~

研究会 : 8:45~15:50

場 所 : グランドプリンスホテル新高輪 国際館「パミール」

東京都港区高輪3-13-1

TEL : 03-3442-1111

受 付 1階 ロビー

会 場 消化管 : 3階「崑崙」

肝胆膵 : 3階「北辰」

### 事務局

消化管 : 福岡大学筑紫病院 消化器科

〒818-8502 福岡県筑紫野市俗明院一丁目1番1号

TEL : 092-921-1011 FAX : 092-928-3890

肝胆膵 : 手稲溪仁会病院 消化器病センター

〒006-8555 北海道札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

TEL : 011-681-8111 (内線 2050) FAX : 011-685-2967

会場費 : 3,000円

共 催 臨床消化器病研究会  
エーザイ株式会社

## 第 11 回臨床消化器病研究会 進行表

	消化管:嵐崙(3F)	肝胆膵:北辰(3F)
8:45	開会の辞-松井 敏幸	開会の辞-真口 宏介
8:50	主題(1)咽頭 <b>【中・下咽頭領域の表在癌の内視鏡診断】</b>  司 会:門馬久美子 井上 晴洋 病理指導:石黒 信吾	主題(1)肝 <b>【肝MCN(粘液性嚢胞腫瘍)をめぐる】</b>  司 会:中島 収 廣橋 伸治
10:40	休憩	休憩
10:50	主題(2)胃 <b>【陥凹性病変の内視鏡診断            ー通常内視鏡から拡大観察までー】</b>  司 会:細川 治 小山 恒男 病理指導:鬼島 宏	主題(2)胆 <b>【膵胆管合流異常と胆嚢病変】</b>  司 会:木村 理 花田 敬士
12:40	昼休憩(お弁当)	昼休憩(お弁当)
13:15	共同セッション(*ランチョン形式)  司 会:松井 敏幸 講演1:丸嶋 亮治【胃生検グループ分類 改定のポイント】 講演2:工藤 正俊【肝癌診療ガイドライン2009年版 改定のポイント】 <span style="float: right;">&lt; * 肝胆膵会場(北辰)は中継 &gt;</span>	
13:45	休憩	休憩
13:55	主題(3)大腸 <b>【大腸炎症性疾患の診断】</b>  司 会:田中 信治 松本 圭之 病理指導:八尾 隆史	主題(3)膵 <b>【小膵癌(上皮内癌を含む)の画像と病理】</b>  司 会:須山 正文 柳澤 昭夫
15:45	閉会の辞-松井 敏幸	閉会の辞-真口 宏介
15:50	閉会の辞-松井 敏幸	閉会の辞-真口 宏介

\* 昼食はお弁当をご用意いたします。(12:40~13:45)

\* モニタールーム(消化管):2F「青葉」(※3F「嵐崙」混雑時)

\* リフレッシュルーム:2F「松葉」(8:00~15:50)

飲み物をご用意しております。なお、中継はございません。

# 臨床消化器病研究会世話人名簿

代表世話人(消化管) 松井 敏幸 (福岡大学筑紫病院 消化器科)  
(肝胆膵) 真口 宏介 (手稲溪仁会病院 消化器病センター)

## 世話人(消化管: 50音順)

味岡 洋一 (新潟大学大学院 分子・診断病理学)  
飯石 浩康 (大阪府立成人病センター)  
石黒 信吾 (ピーシーエルジャパン)  
井上 晴洋 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)  
岩下 明德 (福岡大学筑紫病院 病理部)  
大倉 康男 (杏林大学医学部 病理学)  
小山 恒男 (佐久総合病院 胃腸科)  
鬼島 宏 (弘前大学大学院医学研究科 病理生命科学講座)  
後藤田卓志 (国立国際医療研究センター 消化器科)  
斉藤 裕輔 (市立旭川病院 消化器病センター)  
田中 信治 (広島大学 内視鏡診療科)  
長南 明道 (仙台厚生病院 消化器内視鏡センター)  
鶴田 修 (久留米大学医学部 消化器病センター 内視鏡診療部門)  
浜田 勉 (平戸市国民健康保険度島診療所)  
細川 治 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院)  
松本 主之 (九州大学 病体機能内科学)  
八尾 隆史 (順天堂大学医学部 人体病理病態学)  
山野 泰穂 (秋田赤十字病院 消化器病センター)  
山本 博徳 (自治医科大学附属病院 光学医療センター)  
芳野 純治 (藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 内科)

## 世話人(肝胆膵: 50音順)

糸井 隆夫 (東京医科大学 消化器内科)  
角谷 眞澄 (信州大学医学部 画像医学講座)  
木村 理 (山形大学医学部 消化器・乳腺甲状腺・一般外科)  
工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科)  
熊田 卓 (大垣市民病院 消化器科)  
近藤 哲 (北海道大学大学院医学研究科 腫瘍外科学)  
坂元 亨宇 (慶應義塾大学医学部 病理学)  
須山 正文 (順天堂大学医学部 消化器内科学)  
高山 忠利 (日本大学医学部 消化器外科)  
中島 収 (久留米大学医学部 病理学教室)  
椰野 正人 (名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学)  
信川 文誠 (順天堂大学医学部 人体病理病態学)  
花田 敬士 (JA尾道総合病院 内視鏡センター)  
廣橋 伸治 (大阪暁明館病院 放射線科)  
松井 修 (金沢大学附属病院 放射線科)  
柳澤 昭夫 (京都府立医科大学大学院医学研究科 人体病理学)  
山雄 健次 (愛知県がんセンター中央病院 消化器内科)  
吉満 研吾 (福岡大学医学部放射線医学教室)  
渡邊 五朗 (虎の門病院 消化器外科)

## 名誉会長

八尾 恒良（福岡大学 名誉教授、佐田病院 名誉院長）  
有山 襄（順天堂大学 名誉教授）  
飯田 三雄（九州大学 名誉教授、  
公立学校共済組合九州中央病院 院長）

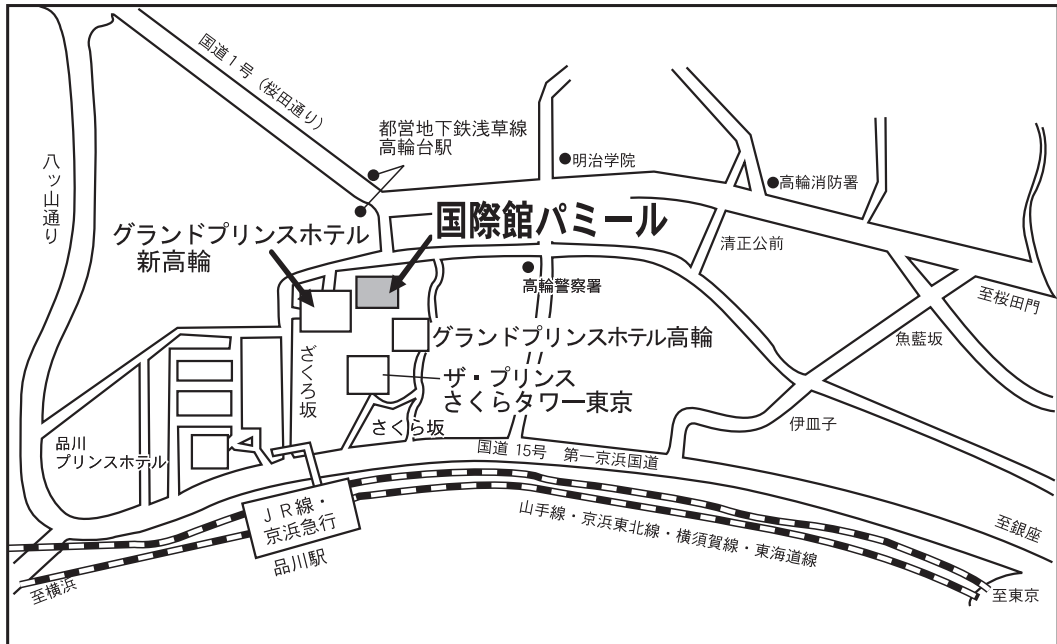
## 名誉世話人（50音順）

池田 靖洋（福岡大学医学部 名誉教授）  
牛尾 恭輔（国立病院機構九州がんセンター 名誉院長）  
大石 元（奈良県健康づくりセンター）  
小池 盛雄（文京学院大学 副学長 保健医療技術学部教授）  
下田 忠和（国立がん研究センター がん対策情報センター）  
神代 正道（久留米大学 常務理事）  
須田 耕一（東京西徳洲会病院 病理科）  
竹原 靖明（相和会 横浜総合健診センター）  
多田 正大（多田消化器クリニック）  
西俣 寛人（南風病院）  
二村 雄次（愛知県がんセンター 総長）  
淵上 忠彦（松山赤十字病院）  
幕内 博康（東海大学医学部付属病院）  
武藤徹一郎（癌研有明病院 メディカルディレクター 名誉院長）  
望月 福治（仙台オープン病院 名誉院長、  
仙台厚生病院健康管理センター 部長）  
渡辺 英伸（新潟大学医学部 名誉教授）

※前代表世話人（消化管）の飯田三雄先生が前回で代表世話人を退職、名誉会長に就任されたため、  
本会より、松井敏幸先生が代表世話人（消化管）に就任されました。  
また、本会より、大倉康男先生・松本主之先生が新しく世話人に就任されました。

※前世話人（肝胆膵）の小井戸一光先生が前回で世話人を退職されたため、本会より、吉満研吾先生  
が新しく世話人に就任されました。

# 会場案内図



**交通** 電車／JR線・京浜急行品川駅（高輪口）から徒歩5分

京浜急行羽田空港駅から品川駅へ19分

都営地下鉄浅草線高輪台駅から徒歩3分

**車** 羽田空港から20分

東京シティエアーターミナル（箱崎）から20分

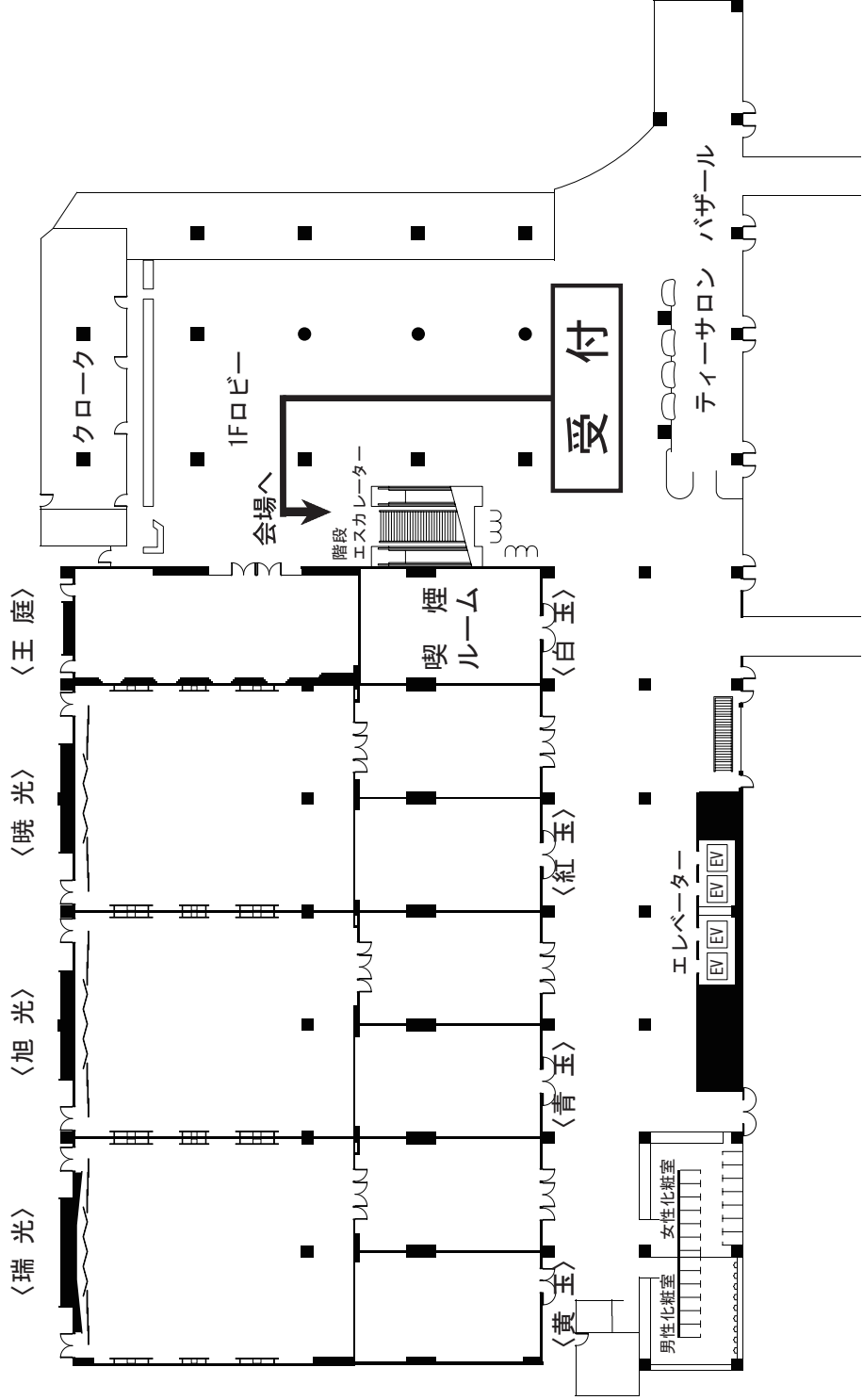
東京駅から20分

JR線、モノレールの浜松町駅から10分

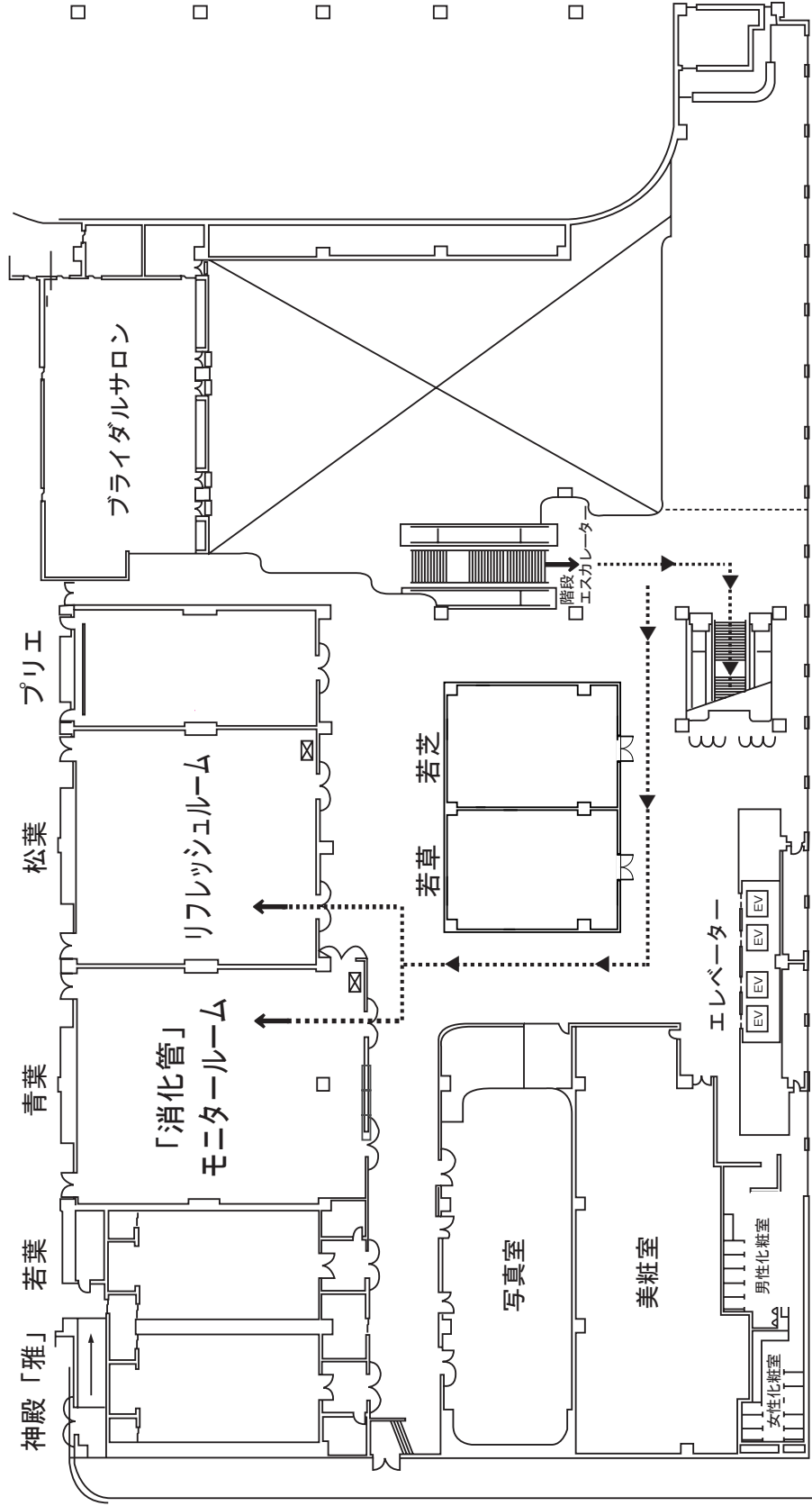
銀座から15分

# 会場案内

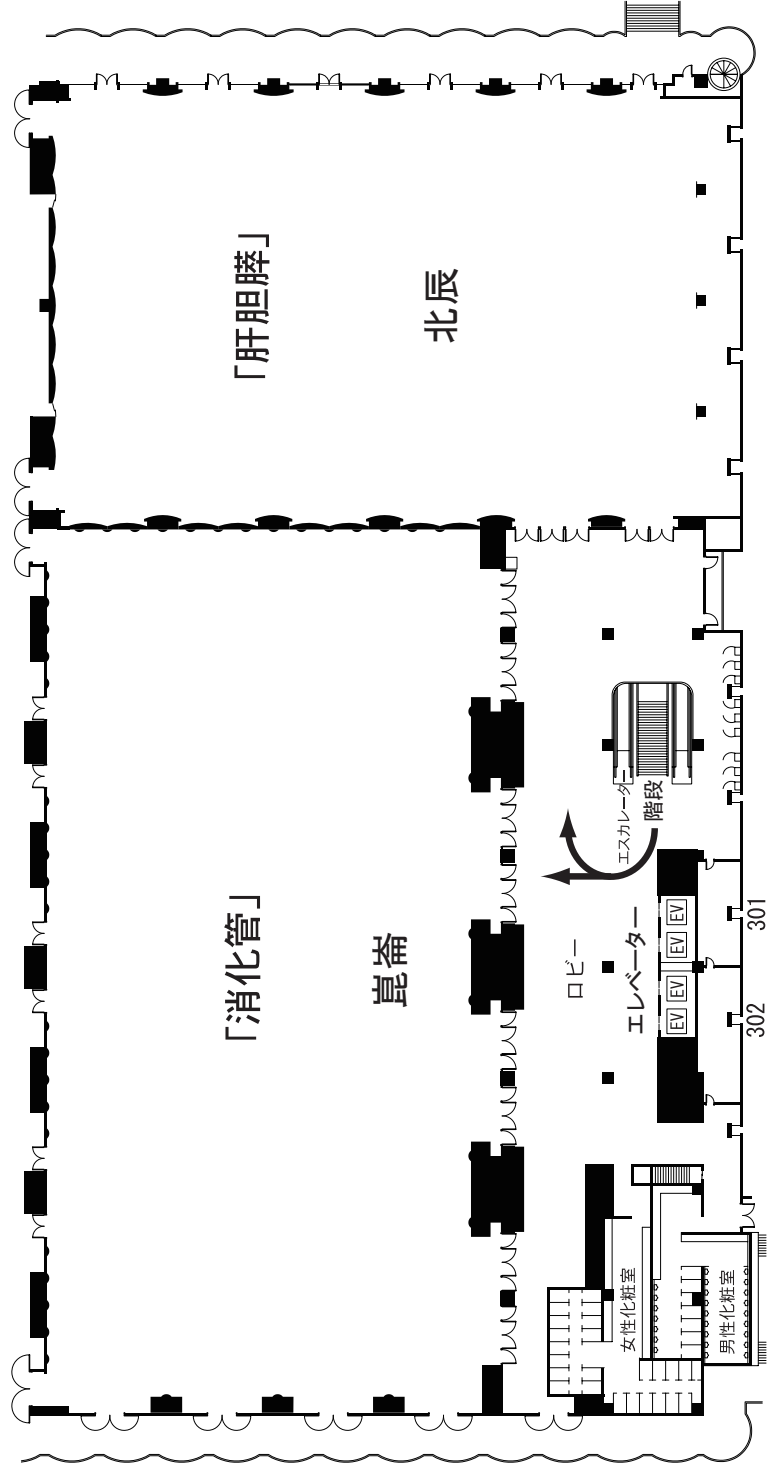
## 受付 1F エントランスホール



# 研究会会場 2F



# 研究会会場 3F





# プログラム

共同セッション：崑崙（13:15～13:45）

司会：松井 敏幸（福岡大学筑紫病院 消化器科）

テーマ1

「胃生検グループ分類 改訂のポイント」

国立がん研究センター中央病院 病理科 九嶋 亮治

テーマ2

「肝癌診療ガイドライン2009年版 改訂のポイント」

近畿大学医学部 消化器内科 工藤 正俊

※肝胆膵会場（北辰）にも中継いたします。

(MEMO)

[消化管]

主題(1) 咽喉「中・下咽喉領域の表在癌の内視鏡診断」：崑崙 (8:50~10:40)

司会：門馬久美子 (がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科)

井上 晴洋 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)

病理指導：石黒 信吾 (ピーシーエルジャパン)

1. 基調講演

1) 「中・下咽喉の撮影方法の工夫とリスクファクター」

国立病院機構久里浜アルコール症センター 内科 横山 顕

2) 「中・下咽喉表在癌の内視鏡診断」

川崎市立川崎病院 外科 大森 泰

2. 症例検討

症例提示

1) 川崎市立川崎病院 外科

平岩 訓彦

2) がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科

田畑 拓久

3) 昭和大学横浜市北部病院

細谷 寿久

読 影

がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科

藤原 純子

東京医科歯科大学 食道・胃外科

川田 研郎

北里大学医学部 消化器内科

堅田 親利

## 「主題のねらい」

上部消化管内視鏡検査において、食道・胃・十二指腸の観察および内視鏡診断は周知の通りであるが、その入り口である中・下咽頭領域あるいは喉頭領域においても、同様に表在癌が拾い上げられるようになってきた。今回は、消化器内視鏡医が知っておくべき、中・下咽頭、喉頭領域の表在癌の内視鏡所見について学びたい。とくに通常観察所見、NBI 拡大内視鏡診断について掘り下げて検討したい。治療は、耳鼻科および頭頸科、呼吸器科と連携しておこなうとしても、拾い上げを消化器内視鏡医が行えれば患者利益は大きい。この企画が、咽頭・喉頭領域の表在癌の拾い上げと咽頭・喉頭癌の予後向上の一助になれば幸いである。

(MEMO)

[消化管]

主題(2) 胃「陥凹性病変の内視鏡診断—通常内視鏡から拡大観察まで—」

: 崑崙 (10:50~12:40)

司会: 細川 治 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院)

小山 恒男 (佐久総合病院 胃腸科)

病理指導: 鬼島 宏 (弘前大学大学院医学研究科 病理生命科学講座)

## 1. 基調講演

「胃陥凹性病変に対する拡大内視鏡観察の基本」

佐久総合病院 胃腸科 小山 恒男

## 2. 症例検討

### 症例提示

1) 新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部

竹内 学

2) 大阪府立成人病センター 消化管内科

竹内 洋司

3) 久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門

中原 慶太

### 読 影

癌研有明病院 内視鏡診療部

藤崎 順子

新潟県立吉田病院 内科

八木 一芳

福岡大学筑紫病院 内視鏡部

八尾 建史

## 「主題のねらい」

近年、Image Enhanced Endoscopy (IEE)や拡大内視鏡の進歩がめざましく、胃病変の診断能向上に貢献していると考えられる。そこで、今回の臨床消化器病研究会では胃病変の中で最も頻度の高い陥凹性病変の鑑別診断を主題に取り上げ、IEEや拡大内視鏡の有用性と限界を検討することにした。

内視鏡診断の基本はあくまでも白色光による通常観察であり、通常観察で胃病変を発見する事ができなければ、IEEや拡大観察を行う事はできない。本主題では白色光による通常内視鏡像を重視し、まずは通常内視鏡所見から陥凹性病変の鑑別診断を行う。さらにインジゴカルミンや酢酸、AIMなどを併用したる画像に基づいて診断を深化させたのち、最後にIEEを併用した拡大内視鏡像を検討する。この課程で、X線検査を含めた各診断法の特徴と限界を明らかにし、胃陥凹性病変に対する最先端の鑑別診断に迫りたい。

(MEMO)

[消化管]

主題(3) 大腸「大腸炎症性疾患の診断」: 崑崙 (13:55~15:45)

司会: 田中 信治 (広島大学 内視鏡診療科)

松本 主之 (九州大学 病態機能内科学)

病理指導: 八尾 隆史 (順天堂大学医学部 人体病理病態学)

1. 基調講演

「大腸炎症性疾患の鑑別診断」

市立旭川病院 消化器病センター 齊藤 裕輔

2. 講演

1) 感染性大腸炎の診断

大阪市立住吉市民病院 消化器内科 大川 清孝

2) 大腸虚血性病変の診断

大阪鉄道病院 消化器内科 清水 誠治

3) 薬剤性大腸粘膜傷害の診断

松山赤十字病院 胃腸センター 藏原 晃一

4) 大腸炎症性疾患と鑑別を要するリンパ増殖性疾患

九州大学 病態機能内科学 中村昌太郎



## 「主題のねらい」

本邦における潰瘍性大腸炎とクローン病の有病率は増加の一途を示している。これらの疾患は慢性・難治性に経過し、消化器専門医の診療においても大きなウェイトを占めている。しかしながら、臨床の場では他の大腸炎症性疾患に遭遇することが多いのも事実であり、鑑別は患者管理や治療の点から極めて重要といえる。その際、臨床経過、X線・内視鏡所見を判定する能力と、生検所見の情報を加味した正確な診断が要求される。なかでも、消化器専門医が粘膜傷害の形態や部位などの特徴を迅速に判定することは必要不可欠である。そこで、本セッションでは大腸炎症性疾患として、感染性、薬剤性、虚血性大腸炎などの症例呈示を頂き、X線・内視鏡所見の分析におけるポイントを検討したい。さらに、臨床像からみた鑑別疾患、および生検組織における病理所見判定のコツをこの領域の熟達医よりご教示いただき、腸疾患の診療に有用なセッションとしたい。

(MEMO)

[肝胆膵]

主題(1) 肝「肝のMCN(粘液性嚢胞腫瘍)をめぐって」:北辰(8:50~10:40)

司会:中島 収(久留米大学医学部 病理学教室)

廣橋 伸治(大阪暁明館病院 放射線科)

1. 基調講演

「肝のMCNと胆管内乳頭状腫瘍の病理」

金沢大学医学系研究科 形態機能病理学 中沼 安二

2. 症例検討

1) 肝MCNの1例

虎の門病院 消化器外科 松田 正道

2) 肝MCNの1切除例

久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門 石田 祐介

3) 卵巣様間質を有する肝粘液性嚢胞性腫瘍の2例

金沢大学 放射線科 小坂 一斗

4) 胃腺窩上皮細胞の粘液形質を示した胆管嚢胞腺癌の1例

自治医科大学附属病院 消化器内科 永山 学

5) 肝MCNとの鑑別が問題となった胆管嚢胞腺癌の1例

大阪府済生会吹田病院 放射線科 廣橋 里奈

6) 長期経過観察された後に切除された男性で

卵巣様間質を伴わない肝粘液性嚢胞腺癌の1例

静岡県立静岡がんセンター 肝胆膵外科 山本 立真

3. 総合討論

## 「主題のねらい」

肝嚢胞性腫瘍の大多数は単純性嚢胞である。単純性嚢胞は壁が薄く均一であり、嚢胞内容が漿液性であるが、そのいずれかが満たされない場合、腫瘍性嚢胞を除外する必要がある。胆管との連続性があり、腫瘍であれば胆管 IPMN（胆管内乳頭粘液性腫瘍）をまず疑う。連続性がない場合には、前腸性嚢胞、出血性嚢胞や肝 MCN（粘液性嚢胞腫瘍）などが鑑別に挙がる。肝 MCN は従来、胆管嚢胞腺腫（癌）として記載されている疾患であるが、内部に粘液を貯溜しており、膵の MCN との類似性が指摘されている。

肝 MCN のうち腺腫では膵 MCN と同様、高率に卵巣様間質を伴うとされているが、腺癌ではこの頻度は低いようである。また稀に胆管との交通がある症例もあり、胆管 IPMN と類似の所見を呈し、両者の鑑別が問題となる。本研究会では、胆管 IPMN を除外した肝 MCN の症例を広く募集し、本疾患の臨床・画像・病理を検討したい。

(MEMO)

[肝胆膵]

主題(2) 胆「膵胆管合流異常と胆嚢病変」: 北辰 (10:50~12:40)

司会: 木村 理 (山形大学医学部 消化器・乳腺甲状腺・一般外科)

花田 敬士 (JA 尾道総合病院 内視鏡センター)

1. 基調講演

「診断の立場から」

東京医科大学 消化器内科 糸井 隆夫

「病理の立場から」

順天堂大学医学部 人体病理病態学 信川 文誠

2. 症例検討

1) 膵胆管合流異常に合併した胆嚢隆起性病変の1例

手稲溪仁会病院 消化器病センター 原田 亮

2) 膵胆管合流異常に併発した胆嚢過形成の1例

広島大学大学院 分子病態制御内科学 神垣 充宏

3) 胆嚢癌との鑑別に苦慮した膵・胆管合流異常に伴う胆嚢病変の1例

鈴鹿中央総合病院 消化器内科 松崎 晋平

4) 膵胆管合流異常に伴った胆嚢腺筋腫症と早期胆嚢癌の1例

平塚胃腸病院 外科 藤本 武利

5) ENGBD が術前診断に有用であった膵胆管合流異常合併早期胆嚢癌の1例

JA 愛知厚生連豊田厚生病院 消化器科 大久保賢治

6) びまん性の壁肥厚を呈した膵胆管合流異常合併胆嚢腺扁平上皮癌の1例

JA 尾道総合病院 内視鏡センター 佐上晋太郎

7) 膵胆管合流異常に合併した胆嚢腺内分泌細胞癌の1例

北海道消化器科病院 内科 町田 卓郎

## 「主題のねらい」

膵胆管合流異常症（以下合流異常）は胆道癌の危険群とされており、特に胆管が拡張していない症例では、胆嚢癌を高頻度に発生することが報告されている。合流異常の胆嚢上皮は、幼少時から過形成がみられ、年齢とともに高頻度となり、異形成を経て発癌に至る経路が推測されており、臨床的には超音波画像で胆嚢壁内側低エコーの肥厚像として反映されることが多い。一方、合流異常では胆嚢腺筋腫症、胆嚢炎の発生もみられ、その病像は多彩である。今回のセッションでは、術前胆嚢癌の存在が診断可能であった症例、癌との鑑別に苦慮した症例、経過観察により画像に変化がみられた症例等の検討を通じて、合流異常に合併する胆嚢病変の画像と病理の比較を行いたい。多数の応募を期待する。

（MEMO）

[肝胆膵]

主題(3) 膵「小膵癌(上皮内癌を含む)の画像と病理」: 北辰(13:55~15:45)

司会: 須山 正文(順天堂大学医学部 消化器内科学)

柳澤 昭夫(京都府立医科大学大学院医学研究科 人体病理学)

病理コメンテータ:

福島 敬宜(自治医科大学附属病院 病理診断部)

1. 基調講演

「予後の良い通常型膵癌を求めて

—画像はどこまで組織像を反映しているのか—

京都府立医科大学大学院医学研究科 人体病理学 柳澤 昭夫

2. 症例検討

1) 膵野型小膵癌(TS1)の1例

福岡大学筑紫病院 消化器科 蓑田 竜平

2) 慢性膵炎の経過観察中に出現をみた8mmの小膵癌の1例

手稲溪仁会病院 消化器病センター 加藤 隆佑

3) 膵管拡張を契機に膵液細胞診で悪性細胞検出し手術、診断された膵上皮内癌の1例

千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学 東郷 聖子

4) 膵炎発作を契機に発見された膵上皮内癌の1例

札幌厚生病院 第2消化器科 長川 達哉

5) 急性膵炎を契機に診断された膵上皮内癌の1例

JA尾道総合病院 内視鏡センター 弓削 亮

## 「主題のねらい」

腫瘍径 2cm 以下の膵癌が TS1 として扱われているが、2cm の大きさでは組織学的に進行癌であることは明らかにされている。また、1cm 以下の膵癌の予後が良いことも判明している。したがって良い予後が期待できる膵癌とは多くは 1cm 以下、あるいは上皮内癌である。このような膵癌の診断過程や病理学的特徴を明らかにすることが膵癌の予後向上につながる。上皮内癌は ERCP と膵液細胞診により診断されることが多いが、診断のきっかけとなる手掛かりが必要であり、病理学的には小膵癌（上皮内癌）の進展形式や背景の組織像を知ることが重要である。きっかけとなる臨床検査と画像、および進展度診断が可能な画像（ERCP や EUS）と詳細な病理学的検討がなされた症例を期待する。

（MEMO）

(MEMO)





劇薬  
処方せん医薬品：注意－医師等の処方せんにより使用すること

【薬価基準収載】

# グルカゴンGノボ 注射用 1mg

## Glucagon G Novo 1mg

グルカゴン（遺伝子組換え）製剤

製造販売元 **ノボ ノルディスク ファーマ株式会社**  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1

販売元 **エーザイ株式会社**  
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10  
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン  
☎0120-419-497 9～18時（土、日、祝日9～17時）

●効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



  
 GLG0909-1 2009年9月作成



【検体検査実施料収載】  
日本標準商品分類番号 877449  
体外診断用医薬品承認番号  
20900AMZ00083000

## 肝細胞癌の 診断補助に用いる…

PIVKA-IIキット  
血中PIVKA-II測定用医薬品

体外診断用医薬品

# ピコルミ® PIVKA-II

〈電気化学発光免疫測定法〉

●使用目的、操作上の注意、使用上又は取扱い上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  **三光純薬株式会社**  
東京都千代田区岩本町1-10-6

販売提携  **エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先：三光純薬株式会社 商品情報係 ☎03(3863)3271 / エーザイ株式会社 お客様ホットライン ☎0120(419)497

PVKA0903-3 2009年3月作成



胃炎・胃潰瘍治療剤

【薬価基準収載】

**セルベックス**® カプセル 50mg / 細粒 10%

〈テプレノン製剤〉

処方せん医薬品

注意—医師等の処方せんにより使用すること【薬価基準収載】

プロトンポンプ阻害剤

**パリエット**® 錠 10mg  
錠 20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

製造販売元

**エーザイ株式会社**

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10  
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン

☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日9～17時)



●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください